

用語の解説

従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が従業している又は通学者が通学している場所をいい、次のとおり区分している。

区 分	内 容
自 区	従業・通学先が常住している区と同一の区にある場合
自 宅	従業している場所が、自区の居住する家又は家に附属した店・作業場などである場合
自宅外	常住地と同じ区に従業・通学先がある人で上記の「自宅」以外の場合
市内他区	同じ市の他の区に従業地・通学地がある場合
県内他市町村	従業・通学先が常住地と同じ県内の他の市町村にある場合
他 県	従業・通学先が常住地と異なる都道府県にある場合

夜間人口と昼間人口

夜間人口（常住地による人口）

調査時に調査の地域に常住している人口

昼間人口（従業地・通学地による人口）

常住地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口

A市の昼間人口＝A市の夜間人口－A市からの流出口＋A市への流入人口

※流出口は、A市からA市以外への通勤・通学者数

※流入人口は、A市以外からA市への通勤・通学者数

昼夜間人口比率

次式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示している。

A市の昼夜間人口比率＝（A市の昼間人口／A市の夜間人口）×100

距離圏

距離圏とは中区金山駅を中心点として、各市町村の役場の所在地を10Kmごとの距離帯に画定し集計したものであり、0～50km未満の各距離圏に属する市町村は下表のとおりとした。

0～10km未満	10～20km未満	20～30km未満	30～40km未満	40～50km未満
愛知県 清須市 大治町	愛知県 一宮市 春日井市 津島市 刈谷市 小牧市 稲沢市 東海市 大府市 知多市 尾張旭市 岩倉市 豊明市 日進市 愛西市 北名古屋市 弥富市 みよし市 あま市 東郷町 長久手町 豊山町 蟹江町 飛島村 東浦町 木曽岬町	愛知県 瀬戸市 半田市 豊田市 安城市 犬山市 常滑市 江南市 知立市 高浜市 大口町 扶桑町 阿久比町 岐阜県 多治見市 羽島市 各務原市 海津市 岐南町 笠松町 輪之内町 桑名市 東員町 朝日町 川越町	愛知県 岡崎市 碧南市 西尾市 武豊町 一色町 吉良町 幸田町 岐阜県 岐阜市 大垣市 関市 美濃加茂市 土岐市 可児市 瑞穂市 養老町 神戸町 安八町 北方町 坂祝町 富加町 御嵩町 三重県 四日市市 いなべ市 菰野町	愛知県 蒲郡市 南知多町 美浜町 幡豆町 岐阜県 美濃市 瑞浪市 山県市 本巣市 垂井町 関ヶ原町 揖斐川町 大野町 池田町 川辺町 八百津町 三重県 鈴鹿市

(参考)

